

自治体クラウド導入

—No.33 蓮田市—

【事業の目的】

基幹系システムを共同利用することにより、経費の削減及び住民サービスの向上等を図ることを目的とします。

【事業の内容】

行田市と基幹系システムを共同利用することになり、「情報システムの共同利用に関する覚書」を締結しました。これにより蓮田市と行田市を構成自治体として埼玉県自治体共同利用システム連絡会を設置し、基幹系システムの共同利用等に関して連携協力していくことになりました。蓮田市は令和3年4月1日から、基幹系システムをデータセンターにおいて共同利用します。

【事業年度】

令和2年11月13日～令和7年12月31日

【予算額(千円)】

0千円（令和2年度）

【財源】

なし

【事業実施に至った背景・経緯】

人口減少、高齢化による人口構造の変化が進行しており、社会全体のデジタル化に的確に対応して持続可能な形で行政サービスを提供する必要があることから事業実施することになりました。

【事業のPRポイント】

複数市による基幹系システムの共同利用は埼玉県内では初めての事例となります。

【事業実績・成果・今後の展開】

令和2年11月13日行田市と情報システムの共同利用に関する覚書を締結しました。今後は、基幹系システムの共同利用等に関して連携協力していくこととなります。

【参考資料】

なし

〔 連絡先 〕

電算課 システム担当 048（768）3111（内線612）